

平成29年度岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 機関評価評価票

1 運営方針及び重点分野	非常に優れている 人	優れている 2人	妥当 4人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>■「新晴れの国おかやま生き生きプラン」、「攻めの農林水産業育成プログラム」に即した運営方針、重点分野が示されており、畜産研究所の位置付けおよび役割は明確である。具体的な取組と重点分野もそれに基づいて設定されているが、どの取組、どの分野が生産者ニーズ、消費者ニーズに対応しているのかは伝わりにくい部分がある。例えば、環境との調和はイメージできるが、気象変動への対応というのは生産者、消費者の誰にとっても恐らく理解しにくい。</p> <p>■消費者ニーズや生産現場での課題にも対応した取り組みの重点分野が明確にされているなど、妥当と評価します。今後、多様化が進む消費者ニーズに対応するための技術シーズの蓄積につながる取組にも期待したい。</p> <p>■3つの重点分野については、バランスよく優れていると感じる。ただし、ブランド力の強化の中での消費者ニーズに対応した高品質な畜産物ブランド化において、付加価値向上、技術開発の具体的な内容をもう少し、アピールされたい。</p> <p>■県民に研究所を畜産への理解醸成の場とし、身近に感じる機関、施設であってほしい。学生、後継者などの人材育成、指導者の研修、畜産農家の経営向上に役立つ研究所であってほしい。</p> <p>■重点としての3分野は適当であると思います。得られた成果を実効あるものにしていくためにも、情報を受ける立場に立った情報発信の研究もぜひお願いしたい。消費者や教育関係などとの連携も強めていく事がもとめられます。</p>					
2 組織体制及び人員配置並びに 予算配分	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>■平成22年度の再編は横断的な取り組みをしやすいとされているが、人員は実質減少しており、機動性が失われることが懸念されていた。再編後6年を経ているが、技術相談のしやすさ、技術指導の受けやすさという点で、生産者や消費者との距離がどのように変化しただろうか。5で述べているが、現地指導の件数が徐々に減っている。予算については、外部資金を積極的に獲得しており、限られた人員の中で健全な運営を心掛けていることがうかがえる。</p> <p>■適切な体制の下で所内外との連携や外部資金の獲得に努めており、また、自己財源で試験研究費等を賄っているなど、妥当と評価します。</p> <p>■予算配分において、試験研究費と事業費が家畜や生乳による収入でほぼ賄えており、外部資金の確保も堅調と言え、評価したい。ただ、後者においては、資金獲得や対外的な部分もあろうかと思われるが、今後も本当に必要な研究を選択し対応いただきたい。</p> <p>■一般財源の少ない中で、特定財源で研究費・事業費を賄われていることは、大変な苦労だと感じる。もう少し、一般財源を充当できないものか。積極的外部資金の確保に努められている点は大変評価できる。</p> <p>■厳しい予算であるが、試験研究費が前年比159%は評価できる。しかし、財源の大半が家畜や生乳の販売で賄われていることに不安も感じる。</p>					
3 施設・設備等	非常に優れている 人	優れている 1人	妥当 5人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>■老朽化が進んでいるということだが、研究成果は着実に上がっており効率的に運用されていると判断できる。これらを今後も継続できるよう、修繕および改修を計画的に行っていただきたい。</p> <p>■新規整備では財源として「特電」を活用し、また、修繕では長期整備計画を作成するなど、厳しい予算状況の中で適切に対応しており、妥当と評価します。</p> <p>■将来を見据えた長期計画を作成のもと、必要な投資や修繕を進めていただきたい。</p> <p>■施設については妥当と感じるが、遊休施設は無いか今一度の検証が必要ではないか。また、遊休施設がある場合はその活用も含めて再度検討する必要があると感じる。</p> <p>■修繕箇所が増加傾向であるが、使用度合いの低い施設もあるようです。長期整備計画に基づき、有効利用を。研究所として最新技術の施設、機械整備は必要と思う。</p>					
4 研究成果	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
<p>助言、指摘事項等</p> <p>■優良家畜の繁殖育成事業をはじめ、畜産農家の経営安定に資する事業および研究を着実に進めていると判断できる。和牛凍結精液、豚液状精液、受精卵等の供給増加は、畜産研究所が岡山県</p>					

の産業振興に不可欠の存在であることを示している。他の研究成果と併せ、消費者に上手くアピールしていただきたい。

■研究成果を生産現場での指導に活用し技術実証を行うなど、妥当と評価します。

■和牛改良において、凍結精液の供給本数が伸びており喜ばしい。現状、子牛上場頭数に占める県有種雄牛の割合は、H27及びH28は15%前後であり、この向上に繋がることを望みます。また、育種価を活かした保留が図られ雌牛レベルは向上しており、枝肉成績も右肩上がりであるが、この成果にも母体及び産子の県有牛割合が高まることでより改良効果を感じられるはずなので、引き続きの作出・選抜に期待します。

また、種豚改良について、優良な交配用種子豚や精液の配布が行われているが、現場での改良効果の状況を示してほしい。

■それぞれの畜種・環境に適した研究および成果が出ている。

産出額で一番多い鶏についての研究がなされていないことについて若干の疑問を感じる。

■一般県民へ向けてのもの、指導者に向けてのもの、畜産経営者へ向けてのもの、さび分けも必要であるが、成果を生かす事、普及することが重要である。

5 技術相談・指導、普及業務、行政検査、依頼試験、情報提供等の実施状況	非常に優れている 人	優れている 2人	妥当 3人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 人
-------------------------------------	---------------	-------------	----------	--------------	----------------

助言、指摘事項等

■技術相談の件数は安定しているが、現地指導の件数が徐々に減っていることから、畜産研究所と生産者の関係が希薄になってきているのではないかと懸念する。飼料の検定・分析業務が加わるなど、人員が増えない中で業務を遂行することは容易でないと思われるが、現場との交流を一層活発にしていきたい。情報提供等は、継続して積極的に行っていると評価できる。

■普及部局と合同で農家巡回を行い現場での問題に対応したり普及指導に取り組むなど、公設試としての強みを活かした活動が行われており、また、幅広く情報提供等も行われていることから、妥当と評価します。

■現地指導の実績で、乳牛関係の指導が減少していることから、積極的に現地に赴き指導にあたっていただきたい。

4で示されたロボット関連の成果に加え、研究所の搾乳ロボットによる飼養管理技術は、既に高いレベルにあると聞いている。今年度以降、当協会も関わるクラスター事業や楽酪事業により、数台のロボットが導入される予定であり、ぜひ、現地にて円滑な移行を含め、成果を活かした指導を期待します。

(環境関係は、問題がなくなっているからの減少で、今までの努力成果であろう。)

■技術相談を広く行われていることは評価できる。

依頼試験をもう少し広く、積極的に行うことが、必要では・・・。

■現地指導では、乳牛関係より、和牛関係が多い。それだけ、和牛部門では、指導や研修を必要としています。技術指導、相談も含め農家にとって必要な機関でありたい。

6 人材育成	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
--------	---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

■担い手育成を積極的に行っているほか、職員を研修会や研究会に派遣して人材育成を積極的に進めると判断できる。年間500名を超える人数を視察研修として受け入れるのは防疫面から労苦が多いと思われるが、公設試としてできるだけ受け入れを継続していただきたい。

■広く人材育成につながる活動により、技術力や能力の向上に取り組んでいることから、妥当と評価します。

■研修会やセミナーへの参加は人材育成に欠かせないと感じるが、上記5と関連し、現場への積極的な派遣による育成も重要ではないだろうか。

■今後も引き続き、岡山県畜産の発展に寄与できる人材の育成をお願いしたい。

■研究所が人材育英の場として利用される事も大切である。宿泊施設等もあり、ヘルパー研修、体験実習の場としてもより多くの受入を望む。

7 他機関との連携	非常に優れている 人	優れている 4人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
-----------	---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

■受託研究、産学連携推進事業等、多くの機関と連携あるいは共同研究を行っており、良好なネットワークを構築していると判断できる。研修生・実習生の受入状況は平成28年度に著しく増加しており、教育面での社会・地域貢献も高く評価される。

■様々な機関との連携により、研究や普及活動、研修等に対応している。また、ニーズの把握と課題化の検討も適切に行われており、妥当と評価します。

■十分な連携が図られていると感じた。

なお、要望課題の検討状況において、要望団体の減少が気になるところで、組織・団体において

問題意識が低くなってきているのか、研究所の試験に対して期待が薄れてきているのか、その他の理由なのかかわからないところだが、その要因を検討しつつ、より現場の要望が汲み取れる体制整備を図っていただきたい。

■インターンシップへの協力等、前向きな取組は評価できる。試験課題の設定については、要望団体、要望課題共減少であるが、県内行政や関係機関、農家からの課題提案が良いと思う。取組課題の多少でなく、内容や成果の普及が重要である。

■経営という面については、畜産研究所として生産者と消費者のパイプ役としての役割も必要ではないか。

8 県民・地域への貢献	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 2人	見直しが必要 1人	全面的見直しが必要 人
-------------	---------------	-------------	----------	--------------	----------------

助言、指摘事項等

■一般の方々に広く認知していただくという点で、イベントや手作り体験などの食育活動は重要と思われる。これを積極的に行っているほか、「うしの館」をリニューアルするなど、啓発・普及活動に熱心に取り組んでいる。

■各種の機会を通じて情報発信を行っていることから、妥当と評価します。発信した情報がどう認知されたかも情報発信の効果を図るうえでは重要かと思えます。

■試験研究機関評価としては、やや違和感のある項目ではあるが、家畜や施設がある場として、理解醸成を図ることは重要なことであろう。まずは、畜産を知ってもらい、将来畜産経営を目指したいと思う者が出てくれば有り難い。

なお、うしの館のリニューアルには、期待します。

■県民に岡山県畜産をもっとアピールするため、積極的なイベントへの参加等を望む。

■前向きに取り組んでいる。県民に親しまれる施設であってほしい。

■イベントの持ち方は色々であるけれど、畜産分野の何を伝えたいのかははっきりさせて行ってもらいたい。幅広い人を対象とした単なるお楽しみ企画もよいが、対象を絞っての効果的な情報発信も必要ではないか。

9 前回指摘事項への対応	非常に優れている 人	優れている 3人	妥当 3人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
--------------	---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

■指摘事項に対し、丁寧かつ誠実に対応していることが理解できる。5で述べたように、現地指導の件数が徐々に減っていることから、(6)人材育成で指摘された「現場対応力に優れた研究者を育てる一番の場所は農家の現場である」については、対応の成果が出てくるまでにもう少し時間が必要なかもしれない。

■概ね対応されているものと判断され、妥当と評価します。

■指摘事項への対応が概ね図られている。

なお、(5)の対応状況(試験研究課題)においては、広く県民から一般公募しており、とあり、7の他機関との連携でも同様な表現が使われているが、その効果はいくばくかで、自ら動きさらなる現場ニーズの把握に努めていただきたい。

■対応状況がほぼ適切である。

総合評価	非常に優れている 人	優れている 4人	妥当 2人	見直しが必要 人	全面的見直しが必要 人
------	---------------	-------------	----------	-------------	----------------

助言、指摘事項等

■機関全体の活動について、見直しが必要と思われるところはない。人員が増えないが業務は増大するという状況にあると思われるが、成果を着実に積み上げて産業振興に貢献していると評価できる。生産者から評価されることは消費者から評価される以上に重要と思われるので、生産者との繋がりを一層強固にしていきたい。

■種々の業務に取り組んでおり、それぞれにおいて一定の成果、効果を創出していることが伺われることから、妥当と評価します。

■より良い県産畜産物を県民に届けることが重要であり、そのための研究機関であると認識している。

消費者ニーズと生産者の考えをマッチさせる研究等も今後取り組んでいただきたい。

■一農家としても、農協としても畜産研究所に大きな期待を持っています。